

特集 男性美容

「人生 100 年時代」を 見据えた 男性美容の幕開け

男性の美容意識の変化や医療技術の進歩を背景に、男性美容の領域が活性化しつつある。かつては、その目的は薄毛や腋臭などのコンプレックスを解消するためのものであった。しかし最近では、年齢を重ねても若々しく積極的に人生を謳歌するためのアンチエイジング医療へと変化している。今回は男性の美容医療に携わる医師および男性化粧品に詳しい化粧品業界の研究者に、男性美容の現状と今後の傾向についてディスカッションしていただいた。

司会

山
下
理
絵
湘南藤沢形成外科クリニック R 総院長

男性の美容意識の変化

山下 美容医療というと、一般的にはおもな治療対象は女性で、「シミやシワのない美肌になりたい」、「小顔になりたい」、「パッチリとした二重になりたい」というのが主要なニーズだと思います。一方、男性はどのような美容医療を求めてクリニックを受診するのでしょうか。男性の美容の悩みも多種多様だと思いますが、

先生方のクリニックでは実際にどのような施術を希望される方が多いですか。

池田 昔から、顔や体のコンプレックスを解消するために、侵襲性の高い美容医療の手術を受ける患者さんは一定数いらっしゃいます。男性は美容医療の施術を受けることで仕事や学校を休むことに抵抗を感じるため、この層の患者さんの割合は、現在でも男性患者の約10%にとどまります。しかし、ここ4~5年で低侵襲の治療が増えるなど、医療の技

術が飛躍的に進歩したことを背景に、新たな患者層が受診するようになりました。具体的には、幹細胞点滴療法による若返り、筋力増強のための磁気刺激、脂肪細胞をターゲットにした超音波療法などの施術を受ける患者さんです。つまり、今まで仕事を休んでまで施術を受けることに躊躇していた方が、積極的に美容医療を受ける状況が生まれています。

山下 女性の場合も美容医療の低侵襲化から、一般の皮膚科や形成外科を受診するような感覚で美容医療を